

## ◇◇◇ 4 款 衛 生 費 ◇◇◇

### [1項 保健衛生費]

1. 健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の予防を重点取組に掲げ、ウォーキングや各種健診等の受診、健康イベント参加などにインセンティブを付与する「くるめ健康のびのびポイント事業」を推進し、市民が健康づくりに主体的に取り組むきっかけをつくり、その取組が継続されるような支援に取り組んだ。また、健康診査・がん検診が受診しやすい環境整備を図るとともに、罹患率が増加している女性がんに対して、受診勧奨の重点化等を行うなど、各種健診等の受診率向上に取り組んだ。
2. 救急医療について、初期救急体制として在宅当番医制（医科・歯科）事業の委託を行った。また、二次救急体制として各医師会の実施している病院群輪番制について事業費助成を行った。さらに、久留米大学病院、聖マリア病院、久留米広域消防本部の協力のもと、福岡県ドクターヘリの運行空白地域を補う久留米市ドクターカーを運行した。併せて、夜間の小児初期救急医療機関である久留米広域小児救急センターについては、事業主体である久留米広域市町村圏事務組合に対し、運営費の一部を負担した。
3. 妊娠期から乳幼児期までの健康保持と増進のため、各種母子保健事業を重層的に展開した。出産後1年以内の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行う産後ケアや、1歳6か月児及び3歳児の乳幼児集団健診の予約において、電子媒体での申請や予約を開始し、利用者の利便性向上を図った。
4. 若い男女が早い時期から妊娠・出産の正しい知識や生活習慣を身に付けることで、妊娠しやすい身体づくりやリスクの高い妊娠・出産を減らし、将来の安全な妊娠・出産につながるよう市民等向けのプレコンセプションケア講演会を実施した。また、プレコンセプションケアを考えるきっかけづくりとして、卵子の数の目安を知ることができるAMH検査費の助成を行った。
5. 妊娠期から学齢期以降の18歳までの児童と保護者を対象に、母子保健及び様々な子育てに関する相談に応じ、切れ目ない支援を行った。また、子ども専用相談ダイヤル「結らいん」について、市内の学校や図書館、こどもに関わる民間団体にカードを配布して幅広く周知を図り、子ども自身からの相談に対応した。
6. 妊娠期から出産・子育てまで、面談やアンケート等を通じて必要な情報提供や支援につなぐ出産・子育て応援伴走型相談支援事業を実施した。
7. 久留米市立の中学校・高等学校全校で、悩みを抱えたときの対処法や相談先情報を伝える「SOSの出し方教育」を実施し、子ども・若年者向けの自殺対策に取り組んだ。ドリームスFMにて、毎月4回こころの健康インフォメーション放送、年5回（1回あたり月4回）こころの健康ラジオの放送や、セルフケアの手法であるマインドフルネスに関する動画配信等を通じて、こころの健康について広く周知啓発を行った。また、市民を対象として「話すことの意義」についてのメンタルヘルス講演会を開催した。

8. 保護した犬猫の飼養環境向上や譲渡促進のための機能強化、浸水害リスクの低減のため、百年公園内に動物愛護センターの建設を行った。

### 1目 保健衛生総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
保 健 衛 生 総 務 費	1,825,440	269,153	100,300	159,158	1,296,829

○予防接種健康被害救済給付金 49,630 千円

○健康ウォーキング事業 2,300 千円

○健康のびのびプロジェクト事業 7,305 千円

第3期健康くるめ21計画の基本目標である「健康寿命の延伸」を図るため、身体活動・運動の推進や健診の受診率向上など一次予防に重点を置いた取組を強化し、市民の健康づくり活動を支援した。

- ・ 集団健診等予約受付業務委託（WEB・コールセンター） 5,560 千円
- ・ ラジオ体操の推進 178 千円
- ・ くるめ健康のびのびポイント事業 1,445 千円

○難病患者地域支援対策推進事業 2,957 千円

○自殺対策事業 7,228 千円

- ・ こころの相談カフェ運営委託 2,966 千円
- ・ 子ども・若者自殺対策 1,099 千円
- ・ 自殺対策啓発事業委託 1,058 千円

○健康増進対策費 208 千円

○母子健康教育事業 44,144 千円

- ・ 産後ケア事業 23,453 千円
- ・ 産前産後サポート事業 1,209 千円

○乳幼児等健診事業 296,046 千円

- ・ 乳幼児健康診査 57,693 千円
- ・ 新生児聴覚検査 5,079 千円
- ・ 妊婦健康診査 207,982 千円
- ・ 産婦健康診査 18,436 千円

○生涯を通じた女性の健康支援事業 948 千円

若い男女が早い時期から妊娠・出産の正しい知識や生活習慣を身に付けることで、妊娠しやすい身体づくりやリスクの高い妊娠・出産を減らし、将来の安全な妊娠・出産につながる取組を実施した。

- ・プレコンセプションケア講演会 211 千円
- ・AMH検査（卵子の数の目安を調べる血液検査）の費用助成 440 千円

○新生児等訪問事業 7,828 千円

○子育て世代包括支援事業 1,014 千円

○出産・子育て応援伴走型相談支援事業 642 千円

○未熟児養育医療給付費 17,140 千円

○育成医療給付費 2,311 千円

○不育症検査費・治療費給付事業 372 千円

○小児慢性特定疾病医療給付費 68,908 千円

○小児慢性特定疾病対策事務事業費 1,682 千円

○小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業 331 千円

○若年者在宅ターミナルケア支援事業 169 千円

○救急医療施設運営費等助成事業 53,952 千円

○医師会等助成事業 3,520 千円

○地域医療連携事業 17,330 千円

- ・地域医療連携推進事業費補助金 900 千円
- ・ドクターカー運行事業費負担金 16,295 千円

○小児救急医療事業 17,894 千円

○骨髄等移植ドナー助成事業 200 千円

○アピアランスケア推進事業 1,654 千円

○動物管理センター移転事業 198,918 千円

[うち令和5年度繰越事業 10,340 千円]

保護した犬猫の飼養環境向上や譲渡促進のための機能強化、浸水害リスクの低減のため、百年公園内に動物愛護センターの建設を行った。

- ・動物愛護センター建設工事 194,521 千円

○後期高齢者保健事業 887 千円

## 2目 予防費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		千円	千円	千円	千円
予 防 費	1,705,508	50,953		165,689	1,488,866

○予防接種費	1,243,460 千円
○健康増進（健康診査）事業	396,116 千円
○結核公費負担医療給付費	5,748 千円
○感染症予防対策費	4,833 千円
○感染症発生動向調査事業	2,665 千円
○特定感染症予防対策事業	12,472 千円
○新型コロナウイルス感染症予防対策費	3,956 千円
○新型コロナウイルス感染症公費負担医療給付費	374 千円
○新型コロナウイルスワクチン接種事業 [うち令和5年度繰越事業 1,615 千円]	1,615 千円
○譲渡犬猫の健康管理事業	462 千円

### 3目 環境衛生費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
環 境 衛 生 費	千円 335,562	千円	千円 198,900	千円	千円 136,662

- 斎場施設維持補修事業 226,589 千円
  - ・火葬炉改修工事 134,001 千円
- 斎場周辺環境整備事業 4,360 千円
- 市有墓地維持補修事業 2,189 千円

### 4目 保健センター費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
保 健 セ ン タ ー 費	千円 159,205	千円	千円	千円	千円 159,205

- 城島保健福祉センター費 65,161 千円
- 北野保健センター費 67,168 千円
- 田主丸保健センター費 7,254 千円
- 南部保健センター費 6,039 千円

## [2項 清掃費]

1. 環境に配慮した循環型のごみ処理を目指し、宮ノ陣、上津クリーンセンターの南北2ヶ所での中間処理体制によりごみの適正処理を行った。上津クリーンセンターについては、次期施設整備に向けた設計や準備工事等を行った。
2. パトロールの実施や監視カメラの活用等による不法投棄防止対策に取り組んだほか、産業廃棄物の適正処理を推進するため、産業廃棄物処理事業者や排出事業者等への立入検査などによる監視・指導を行った。また、PCB廃棄物の適正処理に向けて、保管事業者等に対する検査・指導などを行った。
3. ごみの排出量が少ない高齢者や単身世帯などのごみ出しの利便性の向上を目的として、家庭用指定ごみ袋（特小型）を導入した。特小型は、スーパー等のレジ袋の代替品として単品販売を実施し、プラスチックごみの削減を推進した。

## 1目 清掃総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		千円	千円	千円	千円
清 掃 総 務 費	719,623	7,883		1,935	709,805

- ごみ減量・リサイクル市民活動支援 15,023 千円
  - ・資源回収活動活性化事業 10,688 千円
  - ・自家処理用器具購入費助成 4,335 千円
- 産業廃棄物適正処理推進事業 8,223 千円

## 2目 塵芥処理費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		千円	千円	千円	千円
塵 芥 処 理 費	3,722,335	27,280	139,300	38,832	3,516,923

- 塵芥焼却費（上津クリーンセンター） 897,215 千円
- 塵芥焼却費（宮ノ陣クリーンセンター） 682,660 千円
- 清掃施設一部事務組合負担金 251,526 千円
  - ・うきは久留米環境施設組合 251,492 千円
- 上津クリーンセンター更新事業 194,553 千円

令和10年10月の稼働開始に向け、次期施設の設計、建設予定地の掘削工事や仮設道路整備などの準備工事を行った。	
・次期上津クリーンセンター整備工事	81,620 千円
・工事用仮設道路等整備工事	74,753 千円

○旧埋立地関連整備事業	16,063 千円
○杉谷埋立地整備事業	26,951 千円
○埋立地関連地域環境整備事業	2,782 千円
○塵芥埋立費（杉谷）	37,205 千円
[うち令和5年度繰越事業 3,410 千円]	
○ごみ減量・分別リサイクル推進事業	1,335,555 千円

循環型社会の構築に向け、ごみ減量と限られた資源の有効活用を促進した。	
・廃棄物減量等推進員謝金	36,824 千円
・災害ごみ一次仮置場候補地施設改修	7,738 千円
・可燃物収集運搬業務委託	593,064 千円
・粗大ごみ・特別収集運搬業務委託	63,479 千円
・資源物収集容器配布回収等委託	84,612 千円
・資源物収集運搬業務委託	485,474 千円
・有価物回収事業費補助金	20,084 千円
・分別推進事業費補助金	23,239 千円

○リサイクル品利用促進事業	11,649 千円
○指定袋制度（翌年度繰越額 53,516 千円）	230,275 千円
[うち令和5年度繰越事業 69,043 千円]	
○食品ロス・プラスチック廃棄物削減推進事業	167 千円
・イベントエコステーション設置事業	40 千円
○中間処理施設地域環境整備事業	881 千円
○被災家屋等解体事業	9,182 千円
[うち令和5年度繰越事業 9,182 千円]	

## 1目 環境対策総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
環 境 対 策 総 務 費	千円 144,343	千円	千円	千円	千円 144,343

○環境まなびのまちづくり事業 6,596 千円

○環境美化促進事業 700 千円

・環境美化ボランティア推進事業（クリーンパートナー） 467 千円

○ゼロカーボンシティ久留米形成事業（翌年度繰越額 95,873 千円） 1,285 千円

ゼロカーボンシティ実現に向け地域脱炭素化を加速するため、市民・事業者が脱炭素社会に関する理解を深め、行動変容につながるような啓発を行うとともに、建築物の脱炭素化を支援した。

・ZEH化推進補助金 850 千円

○自然環境の保全と共生事業 260 千円

## 2目 公害対策費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公 害 対 策 費	千円 188,222	千円 33,956	千円	千円	千円 154,266

○合併処理浄化槽設置費助成 78,923 千円

公共下水道整備区域の縮小に伴い、下水道区域から浄化槽区域に移行する区域への浄化槽設置にかかる補助を拡充した。

・合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 78,284 千円

○公害対策事業 28,855 千円

・大気汚染防止対策事業 11,803 千円

・水質汚濁防止対策事業 9,807 千円

・ダイオキシン対策事業 3,685 千円

・騒音振動防止対策事業 1,331 千円

・公害対策費 2,229 千円

○特定地域生活排水処理事業特別会計繰出金 80,000 千円

※特定地域生活排水処理事業特別会計については166ページに掲載

### 3目 し尿処理費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
し 尿 処 理 費	千円 334,250	千円	千円	千円	千円 334,250

○し尿処理費	314,940 千円
・うきは久留米環境施設組合負担金	72,799 千円
・両筑衛生施設組合負担金	26,411 千円
○清掃事業協同組合助成	1,604 千円
○清掃津福工場維持管理事業	10,909 千円

### [3項 環境対策費]

1. 散乱ごみのない清潔で美しいまちづくりを目指し、クリーンパートナーなどの市民・事業者・行政との協働による美化活動や啓発活動を実施した。
2. 6月5日の「世界環境デー」にちなみ、環境省が提唱している6月の「環境月間」にあわせ、市民や市民団体、事業者等が環境問題について共に学び、行動につなげることを目的に、WEB環境フェアを開催した。
3. ゼロカーボンシティ実現を目指し、地域の取組を加速させるため、建物の脱炭素化への支援やライフ・ビジネススタイルの変容を促す啓発等を実施した。
4. 化学物質等の測定による大気汚染や河川などの水質汚染の調査を実施するとともに、関係法令や協定に基づく事業所に対する立入検査を行うなど、生活環境に関する公害等の諸問題の解決に努めた。
5. 水質汚濁防止のため、下水道未整備地域の生活排水対策として、合併処理浄化槽設置費を助成した。

#### [4項 上水道費]

1. 水道事業経営の基盤を強化し、広域上水道の充実及び水道施設の耐震化を図るため、福岡県南広域水道企業団及び三井水道企業団に対する負担金を支出した。
2. 北野地域の水道利用者（三井水道企業団より供給）に対し、本市上水道事業との均衡を図るため、交付金を支出した。

#### 1目 上水道費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
上 水 道 費	千円 148,723	千円	千円 11,300	千円	千円 137,423

- 水道広域化事業 124,491 千円
  - ・福岡県南広域水道企業団負担金 113,399 千円
  - ・三井水道企業団負担金 11,092 千円
- 水道料金均衡化事業 24,232 千円